

報道関係各位

武蔵野美術大学と東京都国分寺市は、まちづくりや文化芸術を軸とした地域活性化包括連携協定を締結します



武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：樺山祐和 以下、本学）と東京都国分寺市（市長：丸山哲平 以下、国分寺市）は、2026年3月30日（月）に地域活性化包括連携協定を締結します。

本協定により、文化芸術における教育研究、まちづくり等の分野において、これまで積み重ねてきた協力関係を一層強化し、発展させるとともに、包括的な連携のもと、地域の課題に適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び人材育成に寄与することを目指します。

【連携協定のポイント】

- ・本学は、商店街の活性化や文化発信など国分寺市をフィールドとした事業を継続的に実施してきました。
- ・美術大学ならではの視点で国分寺市の課題を捉え直し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と、それを担う次世代の人材育成を目指します。
- ・今回の協定締結により、まちづくりや文化芸術を軸とした中長期的な協力関係を構築します。
- ・本学建築学科は、専門的知見を活かし、国分寺市におけるアーバンデザインセンター（UDC）設立において、中核的なパートナーとして参画しています。

※UDC：課題解決型＝未来創造型まちづくりのための公・民・学連携のプラットフォーム

【連携・協力事項】

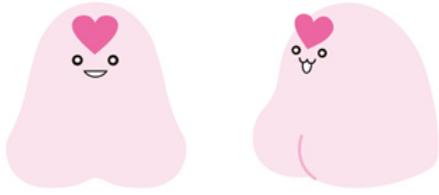
- ・まちづくりに関すること。
- ・文化・芸術に関すること。
- ・まちの魅力の発信及び広報の支援に関すること。
- ・前各号に掲げるもののほか、地域活性化等に関すること。

【国分寺市での本学取り組み事例】

■2014年 恋まちストリート：商学連携による街の活性化

学科：空間演出デザイン学科/場所：恋ヶ窪駅前・恋ヶ窪商店会街区

商店会エリアを舞台に、街頭装飾やハロウィン企画を実施し、恋ヶ窪商店会のにぎわい創出に取り組みました。商店会イメージキャラクター「こくぼちゃん」のオブジェやフラッグ制作などを行いました。



■2018年 ムサビアートサイト2018 - 感受 -

学科：学生有志／場所：都立武蔵国分寺公園円形広場

30年の歴史を持つ学生有志による野外展覧会で「感受」をテーマに、学生各々の豊かな感性を作品として表現しました。

■2018年 とりかえっこプロジェクト

学科：視覚伝達デザイン学科、工芸工業デザイン学科、デザイン情報学科／場所：都立武蔵国分寺公園

株式会社日立製作所との共同実証実験として、国分寺をフィールドに「とりかえっこ」の新たな体験をデザインするプロジェクトをぶんぶんウォーク2018内で行いました。



ムサビアートサイト2018 - 感受 -



とりかえっこプロジェクト

■2023年 cocobunjiフォトプロジェクト — こくぶんじの光彩をひろう展

学科：芸術文化学科／場所：cocobunjiプラザカフェローカル

自然豊かで歴史を感じる国分寺の魅力を伝える写真展や親子で楽しむ写真コラージュワークショップを開催しました。

■2024年 駅前ピアノ in いずみホール | ピアノラッピングプロジェクト

学科：芸術文化学科／場所：国分寺市いずみホール ロビー

ピアノと空間をアートで彩るラッピングプロジェクトを実施しました。



■2025年 アーバンデザインセンター国分寺（UDC）キックオフ・シンポジウムでのプレゼンテーション&展示

学科：建築学科／場所：cocobunji WEST 5階 リオンホール

西国分寺駅周辺のまちづくり提案プレゼンテーションと模型展示を行いました。



●地域活性化包括連携協定締結式（取材・カメラ撮り可）

日時：2026年3月30日（月）午前10時より

会場：国分寺市役所5階 第3委員会室（国分寺市泉町二丁目2番18号）

※協定締結式内において、撮影及び質疑の時間を設けます。

●出席者

国分寺市長 丸山哲平

武蔵野美術大学学長 樺山祐和

●取材をご希望の報道関係者は、3月27日（金）午前10時までにメールにてお申込みください。

お申込み先：武蔵野美術大学 連携共創チーム social@musabi.ac.jp

件名を「3月30日協定締結式取材希望」とした上、メール本文に以下をお知らせください。

- ・貴社名（媒体名）
- ・御名前
- ・御連絡先（電話番号）

武蔵野美術大学について



Musashino
Art
University
1929-2029
100th
美はつづく。

本学創立100周年事業シンボルマーク・コンセプトワード

2029年に100周年を迎える武蔵野美術大学は、1929年に創立された「帝国美術学校」を前身とし、「教養を有する美術家養成」「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念に掲げ、幅広い教養と人間性を有する造形各分野の専門家を養成し、文化の創造発展と社会貢献に寄与してきました。

造形学部と造形構想学部の2学部、絵画、彫刻からデザイン、建築、映像、芸術文化、そして社会イノベーションまで、美術・デザインの広がりに対応する12学科を有し、大学院には造形研究科、造形構想研究科を設置しています。また70年以上の実績を持つ通信教育課程も設けています。日本を代表する美術・デザイン大学として、これまで社会に輩出した卒

業生は7万7,000人に上ります。

造形活動を通じて身に付き、正解のない問をたて、探求し、答えを表現する能力は、今の時代にこそ最も必要とされています。卒業生は美術家、デザイナー、建築家、映像作家など、造形各分野の専門家として活躍するとともに、培った創造性、コミュニケーション能力が高く評価され、多くの業界で日本及び世界有数の企業へ就職し、重要な役割を担っています。

武蔵野美術大学 webサイト：<https://www.musabi.ac.jp/>

東京都国分寺市について



奈良時代に建立された「武蔵国分寺」の歴史を受け継ぐ文化の薫り高い都市で、「名水百選」にも選ばれた豊かな湧水や、崖線（がいせん）の下に広がる「お鷹の道」など、都内にありながら四季折々の自然環境に恵まれています。

近年では駅周辺の再開発が進み、利便性の向上に加えて、日立製作所中央研究所などの高度な研究施設が集まる知的拠点としての側面も持ちます。

2026年からは、「アーバンデザインセンター国分寺」を多摩26市で初めて設立し、歴史的な情緒とクリエイティブな未来志向が共存する街です。

東京都国分寺市 webサイト：<https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

武蔵野美術大学 連携共創チーム

social@musabi.ac.jp